

執筆者紹介（掲載順）

- 執筆者 職位（所属学科） 専門分野 主な担当科目 主な業績など
- 鈴木 弘孝 教授 環境社会学部長（環境社会学部 環境社会学科）
専門分野：緑地計画・緑地政策・都市緑化・環境デザイン
主な担当科目：環境政策論・環境関連法・緑地まちづくり・屋上緑化・エクステリア・
土壌肥料論
主な業績：環境情報科学センター学術論文賞・日本造園学会学術論文奨励賞
主な著書：『緑と地域計画Ⅱ』（共著，古今書院，2011）・『緩衝緑地整備における
事業効果分析と樹林構造の評価』（単著，建築研究所，2008）・『壁面緑化による建
築敷地・街区での温熱環境改善効果に関する研究』（単著，建築研究所，2007）・
『市民ランドスケープの展開』（共著，環境コミュニケーションズ，2006）・『市
民ランドスケープの創造』（共著，公害対策技術同友会，1996）・『造園の事典』（共
著，朝倉書店，1995）・『造園施工管理技術編』（共著，（社）日本公園緑地協会，
1995）・『都市公園におけるオートキャンプ場計画指針』（共著，（社）日本公園緑
地協会，1994）
- 中村 智香 助教（環境社会学部 環境社会学科）
専門分野：生物系薬学
主な担当科目：社会と衛生、アロマテラピー、キャリア形成演習Ⅰ・Ⅱ、インター
ンシップ、環境社会海外研修
主な業績：「なぜ花粉症にその精油がいいのか－科学的見地から検証する－」フレ
グランスジャーナル社 aromatopia 114, Vo.21, No.5 (2012)
「国産ピパーツ (Piper retrofractum) の芳香成分に関する報告」ホリスティックサイ
エンス学術協議会 The Journal of Holistic Sciences Vol.7, No.2 (2013)
- 川口 健夫 教授（環境社会学部 環境社会学科）
専門分野：ハーブ、アロマテラピー、タラソテラピーなど
主な担当科目：ハーブ園芸、香りの心理、園芸植物病論、環境社会プロジェクト
研究 a, c、環境社会海外研修
主な業績：Selective Antitumor Effect of 3',5'-Diocanoyl-5-fluoro-2'-deoxyuridine,
a Lipophilic Prodrug of 5-Fluoro-2'-deoxyuridine, Dissolved in an Oily
Lymphographic Agent on Hepatic Cancer of Rabbits Bearing VX-2 Tumor,
Cancer Research, 47, 1390-1394 (1987).
Intraarterial Infusion of 5-Fluoro-2'-deoxyuridine-C8 Dissolved in a Lymphographic
Agent in Malignant Liver Tumors, Cancer, 64, 2437-2444 (1989).
主な著書：『Pharmacokinetics A MODERN VIEW』（共著，Plenum, New York 1984）
『薬と代替療法』（単著，プラス出版，2006）
『香りで難病対策』（単著，フレグランスジャーナル社，2011）

瀧 章次 准教授（環境社会学部 環境社会学科）
専門分野：西洋古典学
主な担当科目：キャリア形成演習 I～IV、倫理学、西洋思想（大学院）
主な業績：‘The Origin of Interrogation Marks in the Medieval Manuscripts of Plato’s *Republic* and Its Significance in the Tradition of Plato’s Dialogues’ in: N. Notomi and L. Brisson (eds.), 2013, *Dialogues on Plato’s Politeia (Republic). Selected Papers from the IX Symposium Platonicum*, Sankt Augustin: Academia Verlag: 30-39.